特報

# カレンヌ・ブリュノン&クレール・エルジエールによるジョイント・コンサート・ジャパン・ツアー!

(Tour de Japon de Karen Brunon et de Claire Elzière)

日仏文化交流160周年の本年,MIN-ON主催,駐日フランス大使館およびアンスティチュ・フランセ日本後援予定のフランス音楽の大型企画が今年6月中旬に約2週間にわたり行われます。北海道,関東,東海の全国10か所を巡り,シャンソン,ポップフランセーズとしては今世紀最大級の規模であるのみならず,質的にも現在求められる最高のフランス音楽に接することができます。シャンソン・マガジンでは彼女たちのアルバムのライナーや歌詞の対訳を担当し,友人でもある不肖　前原克彦が,毎号全面的に告知とレポートにあたる予定です。

## Karen Brunonについて

クラシック出身のヴァイオリニストとして二十歳そこそこでミッシェル・ルグランに見いだされ,アズナヴールやジュリアン・クレールなど錚々たるアーティストを支え,フランスのポップフィールドで長く活躍してきたカレンヌ・ブリュノンは,2010年代にはトップアーティストのカロジェロ(シンガーソングライター)とシルキュスというバンドを組んだのに続き,自作曲を歌ったアルバムをリリース。プロデュースはコンセルヴァトワール時代からの知人で長年活動をともにしてきた現在フランスを代表するアーティストであるバンジャマン・ビオレと,これも現代のポップ・フランセーズのキーマンの一人であるゴンザレス。日本盤「私が奏でる愛の旋律」発売に合わせて,昨年4月に来日,日仏交流コンサート「AVEC」に出演するほか,アンスティチュ・フランセ東京でライヴを行い,鮮烈な印象を残した。

## Claire Elzièreについて

1999年にフランスの地方で行われたフェスティバルでジュリエット・グレコの「美しき星に」を歌い,グレコ本人の評価を得たことで本格的な歌手人生をスタートしたクレール・エルジエールは,ピエール・ルーキやピエール・バルーのバックアップも得て,着実にキャリアを重ねている。アコーディオニストのダニエル・コランを中心としたドミニック・クラヴィク(来日同行ギタリスト)のミュゼット・プロジェクトの数々のアルバムと来日公演にも参加し,個人名義の「パリ、愛の歌」と題した「〜永遠のシャンソン名曲集〜」も第2集まで発表されている。

**シャンソンの伝統とポップ・フランセーズ最前線の幸福なクロス・オーヴァーを日本で体験できる幸福に酔いしれていただきたい。**

**公演日程**

6月12日(火)千葉県文化会館　13日(水)中野サンプラザホール
15日(金)ウェスタ川越　17日(日)福野市民文化センター(静岡県)
20日(水)日本特殊陶業市民会館フォレストホール(名古屋市)　21日(木)神奈川県民ホール
22日(金)宇都宮市文化会館大ホール　25日(月)ニトリ文化ホール(札幌市)
26日(火)旭川市民文化会館大ホール　28日(木)函館市芸術ホール
福野市文化センターは午後のマチネー(昼公演)ですが,他は夜のコンサートになります。

公演のお問い合わせ | MIN-ON tel. 03-3226-9999 web : http://www.min-on.or.jp
CD情報 | リスペクトレコード tel.03-3746-2503 web: http://www.respect-record.co.jp

(左から)クリストフ・ランピキア(アコーディオン)、トマ・ラルティーグ(ギター&ピアノ)、ドミニック・クラヴィク・ギター、ヴォーカル、プロデューサー)、カレンヌ・ブリュノン(ウォーカル、ギター、ヴァイオリン)、クレール・エルジエール(ウォーカル)、グレゴリー・ウー(ピアノ)、マティルド・フェブレール(ヴァイオリン)、ローラン・ラルシェ(ベース)

**Profile | 前原克彦(まえはらかつひこ)**　ミッション・スクールで中高生にフランス語を教えるかたわら、クレール・エリジエールのシャンソンアルバムの歌詞対訳、パリ・ミュゼット3部作などアコーディオン関係のライナーノート翻訳および執筆、カレンヌ・ブリュノンの歌詞対訳と解説など。音楽センター「フランス語で歌うシャンソン講座」担当。シンコー・ミュージック刊「ディスク・コレクション　フレンチ・ポップ」はかなりの部分を執筆した。歌える訳詞も書く。こっそりとシャンソニエで歌ったりフランス語のナレーションを担当したことも。

シャンソンマガジンでもお馴染みのアコーディオン奏者　桑山哲也さんとのセッションのときの記念写真